

PLMエコノミー、COVID-19が世界の足を止めた2020年、またもや好調な年を迎えようとしていました。さまざまな業界の企業は、在宅勤務、リモートコラボレーション、その他の多くのシナリオをサポートするために、すぐに適応する必要がありました。PLMエコノミーはこれに応え、企業として顧客に価値を提供する能力を示し、今重要なそれらのユースケースをサポートできるようにしました。CIMdataはパンデミックの影響を受けなかったものの、この危機に直面して実際に示されたレジリエンス(しなやかに回復する力)に感銘を受け、今年のPLM Market & Industry Forumのテーマとしました。多くの企業は、激動の時代に難しい変化を起こすために最適な時期と見なしており、COVID-19パンデミックも例外ではありません。PLMエコノミーとその多くの顧客がこれらの不確実な時代にうまくやるためにどのように選択したかにフォーカスします。

背景

2020暦年に向けて、PLMエコノミーはまた良き年を迎えようとしていました。スマートコネクテッド製品、デジタルトランスフォーメーション、インダストリー4.0などの包括的なトレンドは、今後5年間およびそれ以降の極めて明るい見通しに貢献していました。

その後、COVID-19パンデミックが世界を襲い支配しました。商取引活動は止まることはありませんでしたが、大きく変化しました。航空会社やサービス業などの一部業界では、すぐに痛みが見られ、それは効果的なワクチンが広く利用できるようになるまで長引くでしょう。ライフサイエンスやヘルスケアは以前から重要で成長していましたが、COVID-19は、危機に対処するためにビジネスの変更をいつも通りに要求しました。案内標識やレーベルを制作する会社は、誰もが6フィート(または2メートル)の世界をナビゲートするための新しい標識・看板を制作するために急増しています。確かに世界のより多くの人々は、(感染症対策のための)世界的な個人用保護具(PPE - Personal Protective Equipment)の主要な供給源がたまたま中国の湖北省(Hubei Province, China)にあったため、“サプライチェーン”というフレーズを痛感しており、それ自体がウイルスの拡散を制御するために機能していました。現在、地元の店舗では、何時でもすぐに入手できる商品が不足することがよくあります。在宅勤務(WFH - Work From House)は今では当たり前のことであり、企業は現在、主にリモートの働き手をサポートするためのテクノロジーとビジネスプロセスのインフラを提供することに躍起になっています。

PLMエコノミーは、このシナリオの準備に過去20年以上の多くを費やしてきたという主張も成り立つものです。お題目(mantra)は、遠く離れているバリューチェーン全体でシームレスなグローバルコラボレーションを可能にすることでした。利用可能な多くのソリューションがかなり採用されていますが、ライフサイクルプロセスの多くのインタラクションでは、依然として対面が主要なパラダイムでした。パンデミックの大きな恩恵の1つは、多くの企業の経営陣が物理的なコロケーションの優先的選択の再考を余儀なくされていることです。多くのプロセスは、スクラムベースの開発のようにそれを必要とすると考えられているプロセスでさえ、これらのリモートワークの条件で機能させるられます。もちろん、PLMソフトウェアやサービスプロバイダーは、ビジネス慣行を適応させる必要があります。多くがこれを機会と

見なし、採用を促進するために新しい価格とパッケージングで対応し、…そして採用が続きました。たとえば、フィールドサポートのための拡張現実/仮想現実(AR / VR)のアプリケーションにはいくつかの素晴らしい例があります。

このダイナミックな状況に直面して、1つの言葉：レジリエンスがおおきくクローズアップされるようになりました。Dictionary.comでは、これを“曲げたり、圧縮したり、伸ばしたりした後、元の形、位置などに戻る強い力あるいは能力、つまり病気、うつ病、逆境などから容易に回復する柔軟性あるいは能力、すなわち立ち直る力(buoyancy)”と、定義しています。多くのシミュレーションでは、さまざまな刺激の後の“bouncing back(元の状態に戻る)”を論じています。しかし、現時点では、現状そのままの状態に戻るだけで十分でしょうか？私たちの昔からの方法をより望ましいものにするために、逆行して“pave the cow paths(意訳：牛道のようなどうしようもないところにそのまま舗装する)”する必要はあるでしょうか？それとも、より望ましい方向に立ち直る機会を利用して、時代や私たち自身の将来のビジョンにより適したニューノーマルを定義する必要はないでしょうか？

CIMdataでは、このような時代は、組織がこれまで行ったことのない位置に大胆に進む時に来ていると考えています。製品または製造プロセスのニューノーマルを定義するのに役立つために適切なテクノロジーとプロセスを適用することは、多くの場合、PLMの目標の一部であります。弊社のバーチャルでのPLM Market & Industry Forumは、PLMエコノミーとそれら各社がサービスを提供する産業界のクライアントいずれものレジリエンスの概念を探求するものです。

2021年度の開催日&開催地 - バーチャルライブ形式

北米：4月8日、6月2日、9月8日

欧州：4月15日、6月3日、9月20日

インド：4月19日、6月3日、9月20日

中国：4月23日、6月2日、9月23日

日本：4月27日 08:30 - 12:00 日本時間

アップデートセッション：6月3日 08:30 - 11:30 日本時間

アップデートセッション：9月22日 08:30 - 11:30 日本時間

CIMdataの 2020 PLM Market & Industry Forum

この業界をリードするフォーラムで、CIMdataは、PLMエコノミーと各社の産業界のクライアントによるレジリエンスとイノベーションを探求します。より望ましい方向に立ち直る (bouncing forward)、新しい製品、新しいビジネスモデル、新しいサービスを創り出す素晴らしい例がいくつもあります。何を学んだでしょうか？どのような変化が永続的であり、どれがCOVID-19以前の元の状態に戻る可能性があるのでしょうか？そして、どれがCOVID-19の試練に耐えて残るのでしょうか？

CIMdataの2021 PLM Market & Industry Forumは、グローバルなPLM経済におけるソフトウェアおよびサービスプロバイダー向けの最重要イベントであり、PLMコミュニティメンバーおよびグローバルPLM市場へのさらなるインサ

Agenda - 2021年4月27日 (火) 午前8時30分~12時00分

8:30 a.m. - 8:35 a.m. はじめに (Welcome)

8:35 a.m. - 9:20 a.m.

PLMの状況 - 現行市場並びに最新トレンド (State of PLM - Today's Market and Leading Trends) - ピーター・ビレロ

このセッションではPLMソフトウェアとサービスプロバイダーにとって重大である、スマートコネクティッド製品 (smart, connected products)、進みつつあるトレンドや必須事項を含み、特定のトレンドと課題に重点を置いてPLM業界の現行状況をレビューします。CIMdataは、これらのトレンドと、ますます厳しさが増すこの市場について参加者への影響の見解を説明します。さらに、進化するPLMエコノミーとこれらのトレンドに対してCIMdataがどのように対処しているかについての最新情報を提供します。

9:20 a.m. - 9:25 a.m. 休憩 (Break)

9:25 a.m. - 10:10 a.m.

2020年度市場分析結果 (2020 Market Analysis Results) - スタン・ブルジビリンスキー

PLM業界の進展と方向性への包括的且つ正確な識見を持つ最善な情報源として長年に渡って認められているCIMdata年次PLMグローバル市場の分析は、本PLM Market & Industry Forumでまず最初の公開となります。さらなる詳細はCIMdata PLM MAR seriesにレポートされます。

10:10 a.m. - 10:40 a.m.

2020年度 日本&AP市場分析結果 (Japan & AP - 2020 Market Analysis Results Japan & AP) - 江澤 智

このセクションは、2020年の結果を含め、日本のPLM業界をレビューします。

10:40 a.m. - 11:10 a.m.

PLMエコノミーのレジリエンス (Resilience of the PLM Economy) - スタン・ブルジビリンスキー

リモートコラボレーションのサポートは常にPLMの重要なユースケースでしたが、PLMソフトウェアとサービスプロバ

イトを得たい企業にとって重要なものとなります。2021年度のフォーラムでは、現行の経済情勢とトレンドに関するインサイトを提供するとともに、上記で強調した課題と機会に焦点を当て、PLMエコノミーへの影響を検証します。CIMdataの2020年のグローバルPLM市場分析結果の最初の公開リリースに加え、PLMドメイン、業界、地域全体の市場成長、そして主要なPLMソリューションプロバイダーのパフォーマンス (収益と市場シェア別) に関する広範な分析と予測を含み、PLM市場の現在の状態と将来のトレンドに関するCIMdataの視点が詳細に提示されます。

CIMdataのPLM Market & Industry Forumの参加者は、現行と新たに展開・発展するPLM市場、そのダイナミックな影響、継続的な市場の進展への期待についてしっかりと理解することができます。出席者はまた、今後1年間にPLMエコノミーをナビゲートするために利活用できる機会とアプローチについてさらに学びます。

イダーはこの危機のニーズを満たすために奔走する必要がありました。多くがライセンスポリシーを変更し、従来の顧客や新しいセグメントでの試用を奨励しました。各社はリモートで顧客に販売し、サポートしなければなりません。各社は、企業のCOVID-19への対処の支援に新しい製品を創出しました。これらは、危機に直面してPLMエコノミーがイノベーションしなければならなかったほんのわずかな分野です。このセッションでは、どのような変更が成されたのか、ニーズを満たすことで企業が自社とビジネスについて学んだこと、そしてパンデミックを乗り切るために行った変更のタイプに焦点を当てます。

11:10 a.m. - 11:15 a.m. 休憩 (Break)

11:15 a.m. - 11:45 a.m.

危機に直面した際の産業界のレジリエンス (Industrial Resilience in the Face of Crisis) - ピーター・ビレロ

製造業者は、ビジネスで同じ課題に直面し、また、間髪入れずリモートで社の働き手にサポートするために、ますます新しいテクノロジーに依存する必要がありました。多くの企業がデジタルトランスフォーメーションの計画をスピードアップしました。クラウドへの関心と採用が急増しました。サービス会社は、社の専門知識・技術をリスク無く現場に広げるために、拡張現実/仮想現実などに目を向けました。このセッションでは、COVIDの課題に対応するためにディスクリートメーカーが行った変更のタイプに注目し、これらの変更の永続的な影響がPLMエコノミーにどのように影響するかを向けます。

11:45 a.m. - 12:00 p.m. Q&A および コメントなど

担当 :

ピーター・ビレロ, CIMdata 社長&CEO (Peter Bilello, President & CEO)

スタン・ブルジビリンスキー, CIMdata VP (Stan Przybylinski, Vice President)

江澤 智, CIMdata日本代表/メタリンク

CIMdata 2021 PLM Market & Industry Forum 開催&参加要項 - バーチャルライブ形式 ご出席に際して：

- ❖ 本フォーラムは**PLMソフトウェア&サービスプロバイダー向け**です。
- ❖ CIMdata 2021 PLM Market & Industry Forum - JAPANの参加費は、税込総額：49,280円（消費税：4,480円、本体価格：44,800円）です。
- ❖ 早期登録割引（“Early Bird Discount”）：**2021年4月16日（金）**までのご登録は、税込総額：43,780円（消費税：3,980円、本体価格：39,800円）。
- ❖ 同一組織内で複数のご参加は二人目以降、税込総額：32,780円（消費税：2,980円、本体価格：29,800円）。但し、同一申込&請求書でお願いします。
- ❖ CIMdata PLM市場調査にご協力いただいた皆さま：特別割引をいたします。詳細についてはお申込の際にお問い合わせください。
- ❖ これは**Three-Part Single Event**として3部作イベントのパッケージ価格となります。また、**バーチャルライブイベント**となります。
- ❖ 資料については、それぞれのセッションで提供します。
- ❖ 本年度も、プレゼン資料、英語文/日本語文混合での製作を進めるべく準備をしております。一部の日本語は、後日になります。
- ❖ 参加費のお支払いはフォーラム前日までをお願いいたします。
- ❖ 当日、申込者がご出席出来ない場合は必ず代理の方をお願いいたします。
- ❖ **お申し込み**は、所定の申込書をご参照&ご利用願います。PDFファイルにダイレクト入力いただきメールの添付にて。

本年度も皆さまのフィードバック並びに私どもの経験を踏まえ、時代やビジネス環境に見合ったより充実した内容を提供&共有する所存です。皆様のご期待に添うべく計画を進めております。

本フォーラムの特徴は以下の通りです：

2021年は弊社が日本に於いてCIMdataとして1997年にPLM関連（当時はPDM）のフォーラムを開催して25年目となります。この間、フォーラムはユーザー向け、プロバイダー向けへとグローバルに先鞭をつけ発展し、ユーザー向けについては、プロバイダー各社の進展に伴い発展的解消、プロバイダー向けはグローバル共通プログラムの開発を進めて今日に至っています。

東京のほか、米国、欧州、またインド&中国と世界5地区向けにそれぞれ適切な時間帯で開催、さらなる進展となるグローバルベースで開催を鋭意進めています。

過去、PLM業界として最も重要なメッセージを以下のように毎年、掲げて参りました：https://www.metalinc.com/Services/PLM_MIF_Top/

上記の各セッションは例年通り、ワンツーフンの日本語への逐次通訳は行いません。それにより得られる時間をより充実したプレゼンに振り向けると共に出席者皆さまのご理解を深めるために各セッション（ないし項目）毎に重要ポイントの簡便な解説（日本語）をインタラクティブに努力します。。

以上のような、どうぞ、この大きな変化をご活用いただくと共にご理解のほどよろしくご申し上げます。ぜひ、現状をより正しく理解、課題を共有いただき、皆さまに於かれて有益なものになるものと信じております。

CIMdataのPLM Market&Industry Forumに於いて

- ✓ 2020年のPLMエコノミーに関するCIMdataの分析を業界に最初に公開する
- ✓ PLMエコノミーの現状について全体像を見る
- ✓ PLMエコノミーを推進しているのは何かを理解する
- ✓ PLMエコノミーのソリューションプロバイダーが互いにどのように機能しているかを知る
- ✓ PLMエコノミーに影響を与える新たなトレンドについて学ぶ

以下の重要なトピックの詳細：

- ✓ PLMエコノミーのレジリエンス
- ✓ 危機に直面した際の産業界のレジリエンス

CIMdataのPLM Market & Industry Forumとは？

- ✓ CIMdataの年次市場分析の最初の公開を行い、PLMエコノミーの現状について学ぶ機会を提供する。
- ✓ 来る年のPLMエコノミーのビジョンを設定をする。
- ✓ PLMエコノミーの同僚や仲間を一同に会す。
- ✓ PLM業界でのCIMdataの35年以上の経験を活用する。について学ぶ

出席・参加すべき人々は？

- ✓ PLMソフトウェアやサービスプロバイダー
- ✓ PLMシステムインテグレーター
- ✓ 付加価値再販業者やチャネルパートナー
- ✓ 非PLMエンタープライズソリューションプロバイダー
- ✓ アナリストリレーションや競合分析の専門家
- ✓ 金融アナリスト
- ✓ チャネルパートナー
- ✓ 上述に於いて産業界のエンドユーザーでPLM&デジタルトランスフォーメーションに携わる人々
- ✓ 上述に於いてエンドユーザーに対してPLM&デジタルトランスフォーメーションの工程の成功を支援することに関与するすべての人々

米国CIMdata 日本代表 メタリンク株式会社

<https://www.metalinc.com>

☎ 047-361-5850 ☎ 047-362-0472 〒271-0071 千葉県松戸市竹ヶ花西町310-31

お申し込みについて：

- ◆ 以下のPDF入力フォームに必要事項をご記入ください。CIMdataの登録には英吾表記が使われます、出席者リストは日英表記(例年通り、氏名、会社名のみ)となります。
- ◆ **PMIF_2021_Japan@MetaLinc.com**に添付ファイルにてお送りください。
- ◆ 参加確認メールと共に請求書はPDF版にてお送りさせていただきます。
- ◆ 参加受領書(参加票)については、CIMdataからの"招待"メール、Japan MIF / Market & Industry Forum Japan Update 1 / Market & Industry Forum Japan Update 2 (以上、3セッションそれぞれ)に替えさせていただきます。受信後、お手元に大切に保管ください。

CIMdata 2021 PLM Market & Industry Forum - JAPAN 申込書

本フォーラムの開催&参加要項に同意し、CIMdata 2021 PLM Market & Industry Forum - JAPAN (2021年度 CIMdata PLM市場&業界フォーラム：バーチャルライブイベント) を申し込みます：

お名前 (Your Name)		姓 (Family Name)	名 (First Name)
	日本語表記		
	ローマ字表記		
電子メールアドレス (E-Mail)			
会社名 (Company)	日本語表記		
	英語表記		
部署名 (Group/Dep./Div.)	日本語表記		
	英語表記		
役職 (Job Title)	日本語表記		
	英語表記		
電話 (Phone)			
住所 (Address)	郵便番号		
	住所		
	ビルなど		
通信欄			

米国CIMdata 日本代表 メタリンク株式会社

<https://www.metalinc.com>

TEL 047-361-5850 FAX 047-362-0472

〒271-0071 千葉県松戸市竹ヶ花西町310-31